

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制（農業使用基準等）等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報

第3号

果樹

発行日 平成23年 5月25日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ（電話 0197-68-4435）

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri//>」

- ◆ りんごの開花は平年より遅くなりました（昨年並み）！小玉果が懸念されます、摘果作業を急ぎましょう。
- ◆ ぶどうの生育も平年より遅くなりましたが、今後の気温の推移により早まる場合もあります。計画的に開花期前後の管理を進めましょう！

りんご

1 生育概況

県内の定点観測調査結果（表1）によると、4月中旬以降の低温により生育が遅れ、開花期は平年より6日程度遅く、昨年並となりました。昨年のように小玉による反収減とならないよう、結実確認後、できるだけ早めに摘果作業を進めてください。

開花期が遅れたため、まだ結実状況は判りませんが、開花期間中の5月中旬は気温は平年並でしたが、雨が多く（図1）、また、風も強かったため、地域により結実率に差が生じる可能性があります。

また、昨年の猛暑の影響により、花芽が少ない園地が見られます。結実量を確認の上、摘果作業を進めてください。

表1 定点観測地点のふじの開花状況

市町村	地区	開花始(月/日)			満開期(月/日)			落花期(月/日)		開花期の平年・前年差(±日)			
		本年(H23)	平年	前年(H22)	本年(H23)	平年	前年(H22)	平年	前年(H22)	開花始		満開期	
										平年差	前年差	平年差	前年差
岩手町	一方井	5/17	5/11	5/18	5/20	5/14	5/20	5/19	5/23	6	-1	6	0
盛岡市	三ツ割	5/14	5/8	5/15	5/17	5/12	5/18	5/16	5/23	6	-1	5	-1
紫波町	長岡	5/12	5/7	5/11	5/15	5/11	5/17	5/15	5/22	5	1	4	-2
花巻市	中根子	5/12	5/7	5/11	5/17	5/10	5/16	5/14	5/21	5	1	7	1
北上市	立花	5/12	5/6	5/11	5/16	5/10	5/16	5/14	5/19	6	1	6	0
奥州市	前沢区稲置	5/8	5/3	5/7	5/11	5/6	5/12	5/11	5/18	5	1	5	-1
	江刺区伊手	5/14	5/8	5/15	5/17	5/13	5/18	5/17	5/22	6	-1	4	-1
一関市	花泉町金沢	5/10	5/6	5/10	5/13	5/9	5/16	5/14	5/21	4	0	4	-3
	大東町大原	5/11	5/7	5/13	5/15	5/11	5/17	5/16	5/21	4	-2	4	-2
陸前高田市	米崎	5/8	5/4	5/11	5/12	5/10	5/17	5/14	5/21	4	-3	2	-5
宮古市	崎山	5/9	5/7	5/15	5/13	5/12	5/18	5/17	5/25	2	-6	1	-5
岩泉町	乙茂	5/10	5/7	5/13	5/14	5/12	5/17	5/17	5/23	3	-3	2	-3
洋野町	大野	5/16	5/12	5/18	5/18	5/16	5/20	5/21	5/25	4	-2	2	-2
二戸市	釜沢	5/14	5/8	5/11	5/19	5/12	5/17	5/16	5/21	6	3	7	2
県平均(参考)		5/11	5/7	5/12	5/15	5/11	5/17	5/15	5/21	4.7	-0.9	4.2	-1.6

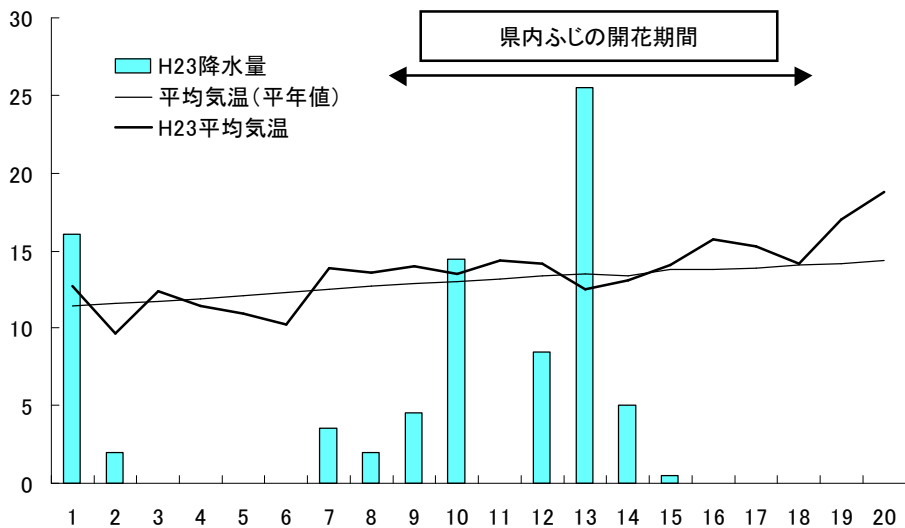


図1 開花期間(5月)における気象経過
(盛岡アメダス観測点)

2 摘果

- (1) 本年は昨年同様生育の遅れにより小玉果となる可能性があります。一方、昨年のも猛暑の影響により花芽が少ない園地も見られています。そこで、花数が十分な園地では、あらか早摘果をできるだけ早めに行い、果実の生育を助けるとともに、翌年の花芽形成を促すことが重要です。極端に花が少ない場合は、樹勢コントロールのため腋芽果にも着果させます。各自の園地の状況、品種構成や労力等に応じた作業スケジュールをたて、計画的に摘果作業を進めましょう。

表2 摘果時期が「ふじ」の当年及び翌年の果実品質、花芽率に及ぼす影響
(長野果樹試 平12~13年)

摘果時期	当年(平12)			翌年(平13)			
	収量(kg/樹)	平均果重(g)	糖度(%)	花芽率(%)	収量(kg/樹)	平均果重(g)	糖度(%)
あら7+仕60	23.9	348	16.6	75	39.6	327	15.2
あら17+仕60	24.0	311	16.1	59	30.5	305	15.3
あら28+仕60	22.4	309	16.0	44	24.1	303	15.3
あら37+仕60	24.0	311	16.1	28	19.9	318	15.6
あら51+仕60	24.8	269	16.1	20	12.3	299	15.3
仕60	24.9	290	16.4	25	16.6	329	14.9
仕74	23.7	281	16.5	4	3.3	255	14.7
仕94	21.2	280	16.7	2	1.1	297	14.7
対照区(無摘果)	53.4	189	13.8	2	2.6	310	14.8

摘果時期: あら摘果+仕上げ摘果の満開後日数を示す。仕のみは摘果を1回で実施した。

あら摘果: 頂芽の側果およびえき芽果の全果を摘み取った。

仕上げ摘果: 葉果比50~60の基準で摘果した。

翌年(平13)の摘果: 全区ともあら摘果満開30日後、仕上げ摘果満開60日後に実施した。

- (2) 摘果の留意点

- ア 最初に、1果そう1果とするあら摘果を実施します。その際、不要な果そうの果実を積極的に除いていきます。その後、果実肥大や品質を確認しながら仕上げ摘果を進めます。
- イ 摘果終了の目安は表3の通りですが、平年より開花期が遅いことから、落花30日後は6月下旬頃になります。作業を計画的に進め、早期摘果を心がけてください。
- ウ 三角実や扁平果など、果形の悪い果実、病虫害果、傷果を中心に摘果していきます。
- エ 果実は横の発育が良く、果硬が太くて長い正形果を残します。
- オ 果台が極端に長いものや短いものは、斜形果の発生割合が高くなるので、できるだけ摘果します。

表3 品種別作業手順

項目	品 種	摘果完了時期
早期に行う品種	ふじ、つがる、王林、きおう、さんさ	落花25日後
後期に行う品種	ジョナゴールド、紅玉	落花30～35日後

3 病害虫防除

- (1) 病害虫防除所の発生現況情報（平成23年4月28日発行）によると、カメムシの越冬成虫はやや多いものの、その他の病害虫は平年並から少ない状況です。
 しかし、ハダニ類は気温の上昇とともに増える可能性がありますので、園地内を良く観察し、新梢葉で寄生葉率が30%に達したら、速やかに防除を行ってください。
 腐らん病の発生園地では、病患部を発見しだい、切除、削り取るなど処置を施します。
- (2) 斑点落葉病や褐斑病は、これから梅雨期に入り、感染が増加する時期ですので、天気予報等を参考に降雨前の予防散布に努めましょう。
 また、キンモンホソガ、モモシクイガの発生時期となります。病害虫防除所が発表する情報を参考に、適期防除に努めましょう。
- (3) 交信かく乱剤を導入する園地では、6月上旬までに剤を設置します。その際は、必ずフェロモントラップを設置して、随時交信かく乱効果を確認しましょう。

ぶどう

1 生育概況（表4）

紫波町赤沢の定点観測によると、「キャンベル」の発芽は5月9日と平年より6日遅く、展葉は5月12日と平年より2日遅くなっています。これは4月中旬以降の低温の影響によるものと思われませんが、凍霜害回避のため設置している雨よけのため、露地よりは遅れていないと考えられます。

これから開花期にかけては管理作業が重なり忙しくなります。計画的に作業を進めましょう。

表4 ぶどう(キャンベルアーリー)の生育状況(定点調査地点:紫波町)

調査年次	生態(月/日)				
	発芽期	展葉期	開花期		
			開花始	満開期	落花期
本年(H23)	5/9	5/12			
平年	5/3	5/10	6/15	6/18	6/22
前年(H22)	5/5	5/15	6/13	6/16	6/19
平年差・比	6	2			
前年差・比	4	-3			

2 管理の要点

- (1) 新梢の誘引
 展葉7～8枚頃に2回目の芽かき作業に合わせて良く伸びた新梢から誘引します。
- (2) 花穂の整理
 ア 「キャンベル」、「ノースレッド」
 開花前に弱い枝の花穂は除き、強い枝には2穂を着生させ、全体で目標着房数の1～2割増の着生数とします。
 イ 「紅伊豆」、「ハニーブラック」、「安芸クイーン」
 最終房数は1新梢1房とします。摘房の時期は、新梢の強弱を判断して強勢のものほど摘房を遅らせ、着色期を目途に最終着房数とします。

(3) 花振るい防止

- ア 「キャンベル」は、強めの新梢を開花7～4日前に房先5～7枚残して摘心します。
- イ 大粒種で花振るいが強い品種や園地では、メピコートクロリド液剤（フラスター液剤）を使用することにより花振るいを軽減できます。使用する際は、登録内容を十分に確認し、使用時期や希釈倍率に注意して使用してください。

(4) 花穂の整形（図2）

- ア 「キャンベル」では、摘心作業と同時に花穂の副穂を切除し、下端を切り詰めます（尻止め）。また、主穂が長すぎる場合は上段の枝梗を1～2段切除します。
- イ 「紅伊豆」などの大粒種は、1～2輪開花し始めた頃から先端部を切りつめます。「紅伊豆」では、副穂を切除し、主穂の基部から4～6段を切除して10～13段程度を残すように整形します。
- ウ 「サニールージュ」では、開花初期（副穂の開花が始まった頃）に副穂を除去し（長い花穂は上部支梗を1～3段除去）、花穂の長さを概ね7～8cmとします。なお、花穂の先端は切りつめません。

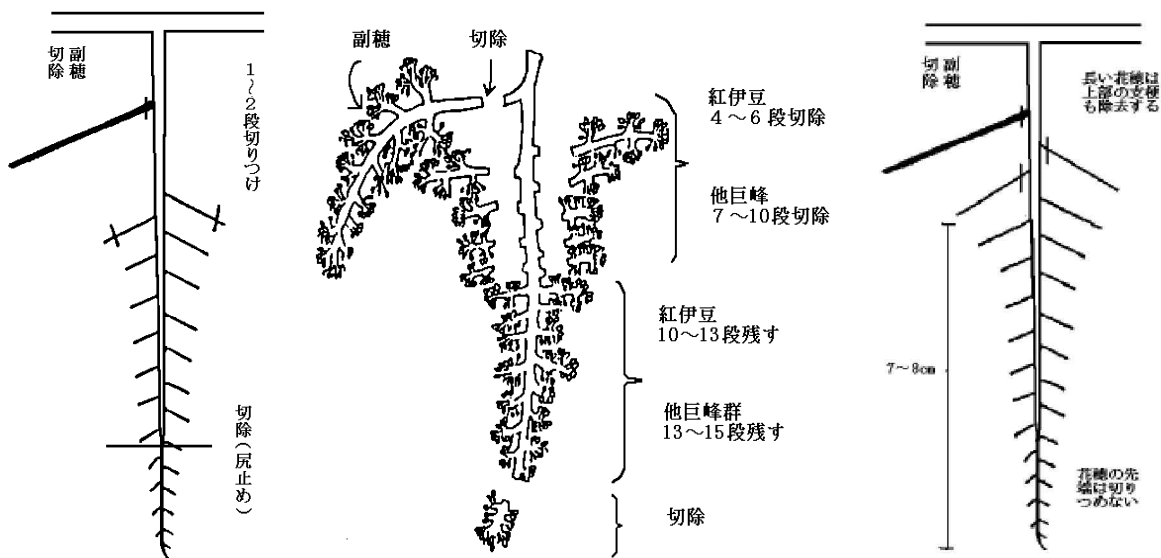


図2 花穂の整形（左：キャンベル、中：紅伊豆等大粒種、右：サニールージュ）

(5) ジベレリン処理

「デラウエア」や「アーリースチューベン」は開花前後の2回、ジベレリン処理することで、無核で果粒の肥大した早熟の果房が得られます。

「安芸クイーン」などの「巨峰系4倍体品種」や「サニールージュ」は無核化とともに果粒肥大促進を目的として利用されますが、樹勢が強く花振るいが多い場合、ジベレリン処理により着粒数を増加させることができます。

なお、ジベレリンはグループ毎に目的、使用方法が異なる場合があるので、登録内容を確認して利用ください。

3 病虫害防除

- (1) ぶどうの開花期前後は、灰色かび病の発生時期です。生育ステージに合わせて、適期防除に努めましょう。なお、灰色かび病等の薬剤抵抗性回避のため、同一系統薬剤の連用はしないよう注意してください。
- (2) 露地栽培で有袋栽培をする場合、防除後、薬剤が乾いたら速やかに袋かけをしましょう。

春の農作業安全月間実施中！ [4月15日]
[~6月15日]

農作業 無事故でつなぐ 明るい未来

次号は6月30日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。